みずかん通信 令和３年 新春 発行

あけましておめでとうございます。年が明け２０２１年の幕開けですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？昨年中は格別のご高配を賜りまして、誠にありがとうございました。本年もどうぞ、水環境館をよろしくお願いいたします。

さて、上の写真は昨年末に門司区で撮影した「蒸気霧(じょうきぎり)」の様子です。場所や条件によって「けあらし」や「川霧」などとも呼ばれる現象で、気温と水温の差が激しい時に発生し、午前中、特に陽が昇った直後に見られることがあります。写真中央部には小さな水路があり、その水が蒸気となって空気中を漂っているのです。

昨年は世界が大きく変動した一年であり、それに伴い私たちの生活や常識さえも大きく変わりました。しかし、それでも地球はいつもと同じように回り続け、世界は存在し続けます。春には桜が咲き、夏には積乱雲が立ち昇り、秋には山が色付き、冬は北風が吹きつける。人の暮らしは変わっても、自然の基本的な現象はそう簡単には変わらないのです。

しかし、そうは言ってもここ数年は地球温暖化が叫ばれ、毎年のように発生する豪雨災害が各地に甚大な被害を出しています。マイクロプラスチックによる海洋ゴミも大きな課題です。他にも保全を目的とした放流事業やエコロジーを盾としたメガソーラーの建設など抱える問題はまだまだ数多くあります。人の暮らしと自然との調和は、これからを生きる我々のテーマなのかもしれません。生態系や生物多様性とは「専門家の分野」ではなく、「私たちの未来」そのものでもあるのです。

～飼育員の戯言～ ヒョウモンダコの展示

ヒョウモンダコは本来、南の暖かい海に生息していますが、近年、温暖化の影響もあってか、九州沿岸でも散発的に発見されるようになりました。特に対馬暖流が流れ込む日本海側で見られるケースが多いのですが、現在当館で展示している個体は、門司区の周防灘側で捕獲されました。

水環境館は、紫川流域の生き物を展示しているのですが、なぜヒョウモンダコを展示しているかというと、本種の唾液にはフグと同じ毒である「テトロドトキシン」が含まれており、海外では噛まれたことによる死亡例もあるほど人に対して危険な面もあるため、広く皆様に知っていただくため展示に至ったのです。

そこで水槽を用意し、低塩分を嫌うタコのために海水の塩濃度にも気を配って迎え入れる用意をしたのですが、肝心のヒョウモンダコのサイズは**親指の爪程度**。砂を敷いた６０㎝の水槽に入れると一瞬でどこかに消えてしまったので、砂をかき分けてタコを救出し、小さなケースに入れて展示を再開しました。蛸壺まで用意したのに、結局使わずじまいです。

そんなこんなで毎日大好きなエビを食べては、少しずつ成長を続けること半年。現在は**親指の爪１．５倍ほどにまで大きく成長しました！**このペースでどこまで大きくなるのか分かりませんが、しっかり育てていきたいと思います。皆様もぜひヒョウモンダコの成長を見届けてください。

ヒョウモンダコ

興奮状態になると体表が黄色くなり、全身に青いリング模様が表れる。野外で見つけても**絶対に触らないように！**

（でも姿はとっても可愛いです）

令和２年度末～３年度中期 水環境館主催イベント情報

川の上からお花見体験♪

「Ｅボートクルーズ」

10 人乗りのＥボートに乗って水上から紫川沿いのお花見をしてみませんか？
※ワンドリンク付
日時：３月 26･27･28 日(金･土･日)
　　9:00～12:00
場所：水環境館
料金：1 人 1500 円
対象：小中学生とその保護者
定員：各日 10 名
申込：電話にて先着順

カヌーに乗って生き物を調べに行こう！

「水辺の生き物調査」

水環境館前から貴船橋までカヌーに乗って河口で見られる生き物を観察します。
日時：5 月 23 日(日)
　　13:00～15:00
場所：水環境館(受付)/
　　貴船橋周辺(活動場所)
料金：1 人 700 円
対象：小中学生とその保護者
定員：7 家族
申込：5/1 より電話にて先着順

初心者の方大歓迎の当館名物イベント

「カヌー体験 in 紫川」

見慣れた街並みを川から眺めてみませんか？
日時：5 月 3(月)･6 日(木)※10 月下旬まで随時開催予定
　　午前の部 10:00～12:00
　　午後の部 13:00～15:00
場所：水環境館(受付)/
料金：3 歳以上　　400 円
　　小学 4 年以上 600 円
　　高校生以上　1000 円
対象：3 歳以上(小学 3 年までは保護者同伴)
定員：1 人乗り 5 艇
　　2 人乗り 10 艇
※3 歳から小学 4 年生までのお子様は
　キッズシートで 3 人乗りでの乗艇可能
申込：水環境館へお問い合わせください

水環境館スタッフがお話しします

「生き物トーク」

観察窓から見られる魚や流域に生息する生き物について「かいくん」がお話します。
日時：原則毎月第 1 日曜日
　　13:00～14:00
場所：水環境館観察窓前ホール
料金：無料
対象：どなたでも
定員：なし※状況により入館制限の可能性有
申込：なし

昔話の朗読会や紙芝居劇

「おとぎぞうし」

季節ごとに様々な朗読劇や歌遊びをします。
日時：原則第 2 日曜日
　　（開催日時はご確認ください）
場所：水環境館観察窓前ホール
料金：なし
対象：どなたでも
定員：なし※状況により入館規制の可能性有
申込：なし

水環境館の春のお祭り♪

「紫川かわの駅」

川にまつわる物産の販売や様々なイベント、フリーマーケットなどを行います。
日時：5 月 5 日(水祝)
　　10:00～16:00
場所：水環境館
料金：なし(一部有料)
対象：どなたでも
定員：なし※状況により入館規制の可能性有
申込：なし

水環境館初夏の企画展

「命をつなぐ防災展」

近年多発する自然災害について過去の事例から命を守る術を学ぶパネル展示や講演を行います。
日時：6 月 2 日(水)～6 月 7 日(月)
場所：水環境館
料金：無料
対象：どなたでも
定員：なし※状況により入館制限の可能性有
申込：なし

川の裏話を聞きながらツーリング体験

「カヌーツーリング」

紫川河口部をツーリング形式で巡ります。
体力に自信があれば初心者の方でも大丈夫です。
日時：4 月 24･25 日(土･日)
　　午前の部 10:00～12:00
　　午後の部 13:00～15:00
場所：水環境館(受付)/
料金：3 歳以上　　400 円
　　小学 4 年以上 600 円
　　高校生以上　1000 円
対象：3 歳以上(小学 3 年までは保護者同伴)
定員：1 人乗り 5 艇
　　2 人乗り 10 艇
※3 歳から小学 4 年生までのお子様は
　キッズシートで 3 人乗りでの乗艇可能
申込：水環境館へお問い合わせ下さい

川での「楽しいこと」「危ないこと」を学びます

「紫川ながれ隊」

実際に紫川で流されてみる体験イベントです。
水辺の安全講習や生き物探しも行います。
日時：7 月 19 日(月祝)
　　9:00～12:00
場所：旧道原小学校周辺
料金：1 人 1,000 円
対象：小中学生とその保護者
※活動は保護者参加必須
定員：10 家族
申込：水環境館へお問い合わせください

水環境館夏の企画展

「紫川生き物大発見！」

北九州高校魚部の皆さんとの共催で、紫川に生息する生き物を展示します。最終日には魚部の皆さんによる研究発表やクイズ大会もあります。
日時：8 月 2 日(月)～8 月 9 日(月)
場所：水環境館
料金：無料
対象：どなたでも
定員：なし※状況により入館制限の可能性有
申込：なし

※野外でのイベントは天候等の条件により、プログラム内容の変更または中止とさせていただく場合がございます。
※受付開始日や締切りなどの詳細は HP にて随時お知らせいたしますので、ご確認ください。
※各事業の詳細についてのご不明な点は、水環境館にお問い合わせください。

かいくんの おさかなトーク ～シマイサキ編～

成魚は主に河口から海にかけて生息しますが、幼魚は河川へ頻繁に遡上し、海水の影響を受けない純淡水域で見られることもあります。また、幼魚は群れて泳ぐ習性があるため、水環境館の河川観察窓でも３～４㎝ほどのシマイサキが集まって泳ぐ姿を観察できます。

名前が似た魚にイサキがいますが、同じスズキ目に属しているものの分類学上は全くの別グループで、体のわりに顔が小さいなどの特徴が似ていることから「縞のあるイサキ」という意味の和名がつけられたとされます。

ちなみに、この魚の縞模様は「縦縞(たてじま)」と「横縞(よこじま)」のどちらだと思いますか？実は魚の場合、縞が脊椎(背骨)に対してどの向きか？で縦横の区別がされています。魚の背骨は頭から尾びれの方向にあるため、シマイサキは「縦縞」ということになるのです。ただし、常に縞模様なのではなく、興奮した時などは全身が真っ黒になります。

魚は成長に伴い、いかつい(カッコいい)体型になる種も多いのですが、私からすると本種は「成魚になってもカワイイ魚」だという印象です。暖かくなったら、あなたもシマイサキに会いに、水環境館へ来てみませんか？

福田海輝(かいくん)
日本産魚類と全国の市民会館が好き。生まれも育ちも海なので、正直川は怖いです。

水環境館 RIVER MUSEUM
住 所 / 北九州市小倉北区船場町 1-2
開館時間 / 10:00～19:00 休館日 / 原則火曜日(長期休暇期間中除く)･年末年始
お問い合わせ / 093-551-3011
指定管理者 / 玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体
http://mizukankyokan.jp